



知行合一

校訓

自主 誠実 躍進

田浦中学校だより No.8
文責 古田 利也
令和5年11月30日発行

田浦中 学校教育目標

夢実現 潤いと輝きにあふれる学校

「歳寒くして、然る後にして、松柏を彫むに後るを知る。」(孔子)

厳しい冬が来て、寒さに耐えた後に初めて松や柏の美しさが際立つことを比喻しており、困難に耐えた後にこそ真価が現れるということ、の意。この言葉は、努力や苦勞を惜しまずに、達成したい目標に向かって取り組むことの重要性を示している。

令和5年度芦北水俣科学展 特選

本年度も郡市科学展が開催され、本校からは3点が特選を受賞しました。特選の3点は県科学展等に出品され、それぞれが素晴らしい賞を受賞しました。

「田浦の海岸に生息するアサリの研究」
～貝殻模様の多様性の原因を解明する～

◇第83回県科学展 熊日ジュニア科学賞
日本学生科学賞熊本県大会 優秀賞
3年 粕谷美月さん松岡咲良さん松永明莉さん

「イチヨウの不思議」
～葉や枝に見られる特徴とは～

◇第83回県科学展 優賞
3年 田端蘭伽さん竹原麻桜さん元村心愛さん

「なぜ赤紫蘇の収穫時期は短いのか」
～赤紫蘇と青紫蘇のちがいを調べる～

◇日本学生科学賞熊本県大会 審査員特別賞
2年 岡村青泉さん藤崎瑛大さん藤崎湊大さん矢田樹さん



右から
松岡さん
松永さん
粕谷さん

ルフィー像前にて
(県庁プロムナード)

県庁での授賞式

10月31日(火) 葦北郡中学校音楽会がありました！

毎年、郡音楽会には3年生が中心となって参加していますが、今年は、全校合唱での出演も許可していただいたことで、全校生徒81名で参加しました。各中学校とも、文化祭の「合唱コンクール」に向けて練習していた曲を発表してくれましたが、息の合った指揮者と伴奏者、そして各パートの声が素晴らしいハーモニーを醸し出し、聴く人の心を揺さぶる発表でした。

本校の3年生も、練習期間は短かったですが、音楽の時間や放課後等の時間に練習を重ねていました。本番では、音量やハーモニーにおいてこれまで以上の歌声を披露してくれました。このまとまり感を卒業に向け、持続して行ってほしいと思います。

指揮者：山本裕菜さん
伴奏者：岡本梨花さん



令和5年11月12日(日)9:30～

田浦中学校文化祭 お世話になりました！

文化祭テーマ

飛躍

～みんなで輝く文化祭～

本年度のテーマには生徒全員誰ひとり欠けることなく輝き、地域の方や家族を含め、来場し観覧いただいたすべての皆様も一緒に輝けるようにとの思いが「みんなで」には込められていました。

本年度は、文化祭の5日前から実行委員長をはじめ6名の生徒が防災無線を活用して、当日のご来場を呼びかけました。そのかいあって、当日はたくさんの方々にご覧いただくことができました。また、今回は学校運営協議会の方々にも出演いただき、「学校(校歌)甚句」をご披露いただきましたし、芦北町の事業である英国派遣事業に参加した市川紫月さんの事業報告もあり、最後のまとめでは、「もっと英語を勉強したい」ということ、「このような機会があったら、みんなにも是非参加してほしい」という思いを伝えてくれました。



学校運営協議会の皆様

午後からは平尾雅述先生を審査員にお迎えして合唱コンクールが行われ、見事3年生が最優秀金賞を受賞しました。そして最後に、夏休みから練習してきた全校合唱「Replay」を歌いました。これまで大きな舞台で3回発表してきましたが本校文化祭での合唱がこれまでで最高の歌声だったと思います。皆さん、本当にご苦勞様でした。感動をありがとう！
この思いをこれからの学校生活につなげよう！！



市川紫月さん



「防災無線でのお知らせ」効果抜群でした！

今回、防災無線をとおして地域の皆様にお知らせをしたところ、多くの方にご来場いただきました。本当にありがとうございました。防災無線でのお知らせの効果に驚いています。今後も、学校行事や地域の皆様にお伝えしたいことなど防災無線をとおしてお知らせしていきたいと考えていますので、ご意見やご要望等を含め、何でも結構ですので学校までお知らせください。皆様のご来校もお待ちしております。

